

<核融合炉 (多チャネル対応)>

概要 (イギリスの例)

海水に (水素、トリチウム) が事実上無制限に供給できる事、危険な廃棄物がない事から、核融合はエネルギー生成のための究極の目標と見られている。

写真には、実験が行われる中央の真空容器の周りに放射状に配置された6つのキャパシタバンクがあり、キャパシタは1分間で最大200,000ボルトまで充電され、蓄積された電気エネルギーは2マイクロ秒未満で放電される。

リーズナブルな価格で、多チャネルの同期測定の要求がある

[Digitizers from Spectrum used in race to create fusion reactor for limitless clean energy - SPECTRUM Instrumentation \(spectrum-instrumentation.com\)](https://www.spectrum-instrumentation.com)

主な仕様・特長

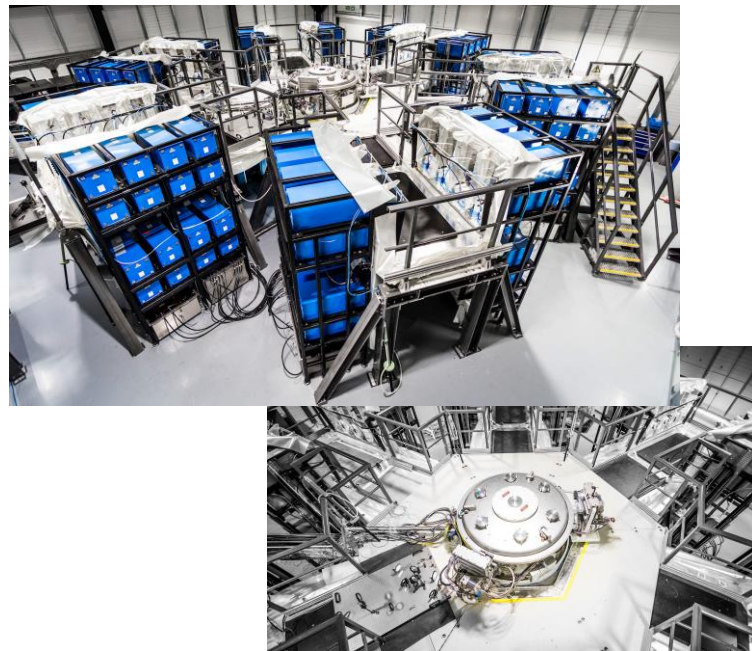
digitizerNETBOX DN2.xxx.xx 或いは DN6.xxxx.xx

多チャネル同期計測が可能 (～48チャネル)

M4i.22xx.xx 或いは M4i.44xx.xx + ドッキングステーション

多チャネル同期計測が可能 (～128チャネル/シャーシ)

装置の外観 真空容器の周りに192台のキャパシタ



256チャネルシステム
2台の19インチシャーシ/1に32台のデジタイザカード